

「歯を守れ！予防歯科に命を懸けた男」を読んで

歯科衛生士 口腔衛生部 矢野 貴子

私自身日々の診療をこなしていく中で、もっと本気で向き合わなければならないなど改めて気付かされました。

この本の中では患者さんの立場からの意見も多く、普段なかなか客観的に診療風景や患者さんの気持ちなど聞けないのですが細かく書いてありとても参考になりました。

自分自身が同じ様に説明しているな。と思うところもあり嬉しかったのと同時に、論文を読まれていたり海外に勉強に行かれたり、自分の知識の浅さを痛感しました。

自信を持ってプロの歯科衛生士になる上で学び続ける姿勢と、患者さんを思う気持ちはずっと持ち続けたいと思います。

例えば実際働く太田さんや内山さんの日吉歯科への想いは熱く、10年などの短い期間ではなく30年勤務されている現状に驚き、きっかけや生まれ育った場所に日吉があることによりやましさを感じました。そして長く患者さんと向き合われていることが本当に伝わり、ここまでして初めて「マイハイジニスト」になれるのだと思いました。患者さんに寄り添い、生涯に渡ってサポートしていくことの大切さを、感じました。

熊谷先生のこだわりにも感動しました。最初の予防歯科の葛藤やご自身の闘病を乗り越えていろいろな試練を乗り越えてこそ、「真の予防の大切さを伝えたい」という姿勢は、素晴らしく、そして思うだけでなく行動することの大切さも改めて気付きました。

また印象的だったのがプレゼン発表のシーンで涙した。というところ。

自分を振り返ると発表に必死になり患者さんへの想いをどこか忘れていたように感じます。いつも院長先生が言うてくださる「歯ではなく人を診る」まさにそのことだな、と重なり自分自身と照らし合わせ反省しました。

毎日に必死になり、なかなか振り返ることができなかった私にたくさんの「気づき」を与えていただきました。

説明の仕方、患者さんへの寄り添う姿勢、学ぶ姿勢、チーム医療の大切さ、明日からまた診療にも生かしていきたいと思います。

私も患者さんから信頼される「マイハイジニスト」になります。